

東部エリア

早岐地域、江上地域、針尾地域、三川内地域、宮地域

概要及び特性

東部エリアは早岐地域、江上地域、針尾地域、三川内地域及び宮地域の5地域を対象とし、人口が約5.1万人、面積が約96.18km²、人口密度が529人/km²です。人口密度は、市平均(612人/km²)を若干下回っています。早岐地域は、早岐駅周辺や広田地区に商業施設が多く、また、早岐支所や駅周辺は他の地域の行政サービスや都市活動を補完した拠点(地域核)となっています。江上地域は、ハウステンボスが立地しており、その周辺にマンションや戸建て住宅が立地しています。針尾地域、三川内地域及び宮地域は、山林等の自然が多く、農業や漁業、窯業を営む集落が点在しています。

このように、東部エリアは、早岐地域を中心としたエリアで、ハウステンボス等の観光地や三川内焼等の伝統工芸による観光資源を有しているエリアです。

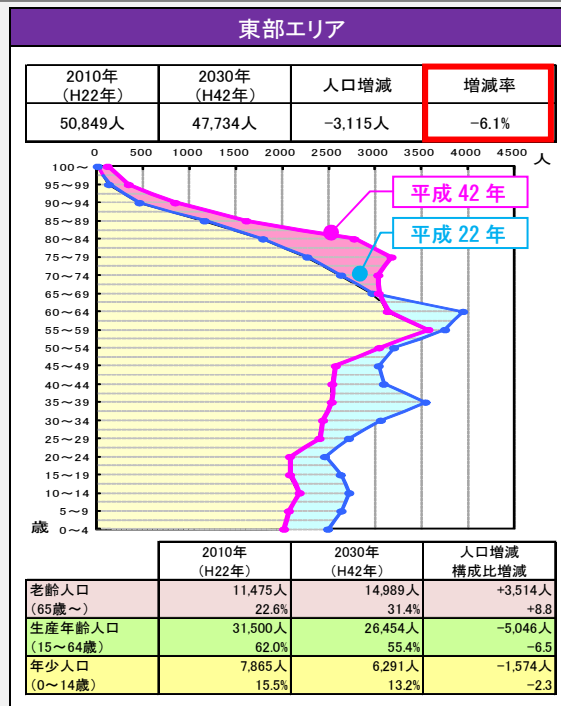
エリア内の各地域の中心部には、支所及び地区公民館を併設して設置しています。

人口変化

エリア全体の人口は、横ばい傾向にあります。エリア内の地域別にみると、この10年間で、早岐地域は約6%増加、江上地域が横ばいとなっている一方、宮地域、三川内地域及び針尾地域は、減少傾向となっています。(第1章P10参照)

今後の人口推計をみると、エリア全体では減少傾向に転じる中、早岐地域は、横ばい傾向になると予測されます。他の地域は、今まで以上に減少することが予測されます。(第1章P11参照)

人口構成をみると、高齢人口は増加傾向となっています。20年後の高齢人口比率を地域別でみると、早岐地域が最も低く27%、宮地域が最も高く55%となると予測されます。(第1章P13参照)



※平成22年は、年齢不詳人口を5歳階級ごとに按分しているため、総人口と年齢階層毎の合計値とは一致しません。

公共施設の配置状況及び整備状況

【配置状況】

早岐地域の公共施設は、早岐駅周辺及び広田地区に集積しています。他の地域も、鉄道又は、幹線道路沿いに集積して配置しています。

【整備状況】

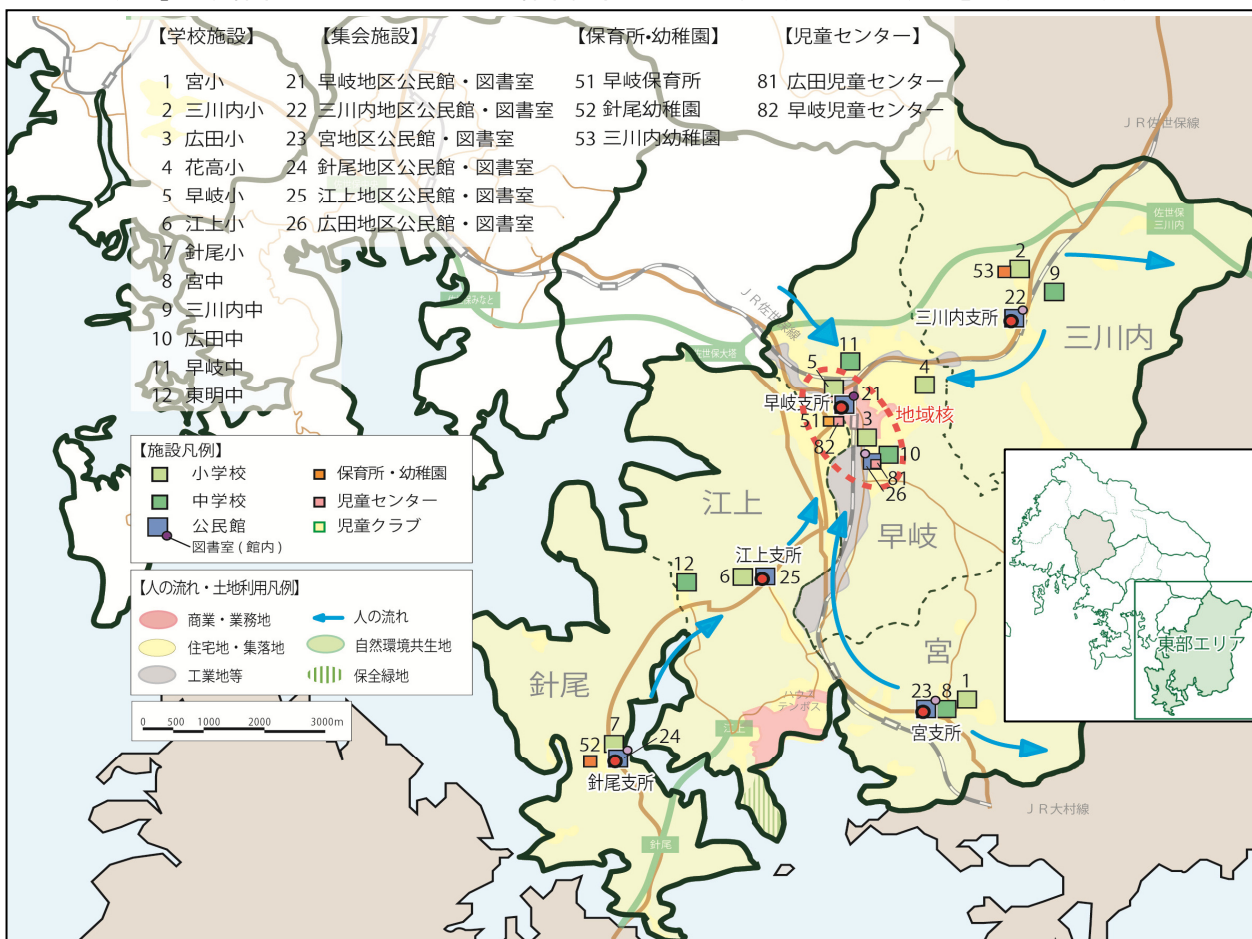
エリア内の公共施設は延16.8万m²と、市全体の約13%を占めており、エリア住民1人当たり3.2m²となっています。そのうち、学校教育系施設(約44%)及び市営住宅(約42%)が全体の約86%を占めています。

築年別整備状況をみると、旧耐震基準の建物が約53%となっており、学校教育系施設及び市営住宅が多くなっています。また、支所と地区公民館が併設施設のうち、江上地域を除く4地域で老朽化が進んでいます。(併設施設は全て築30年以上経過)

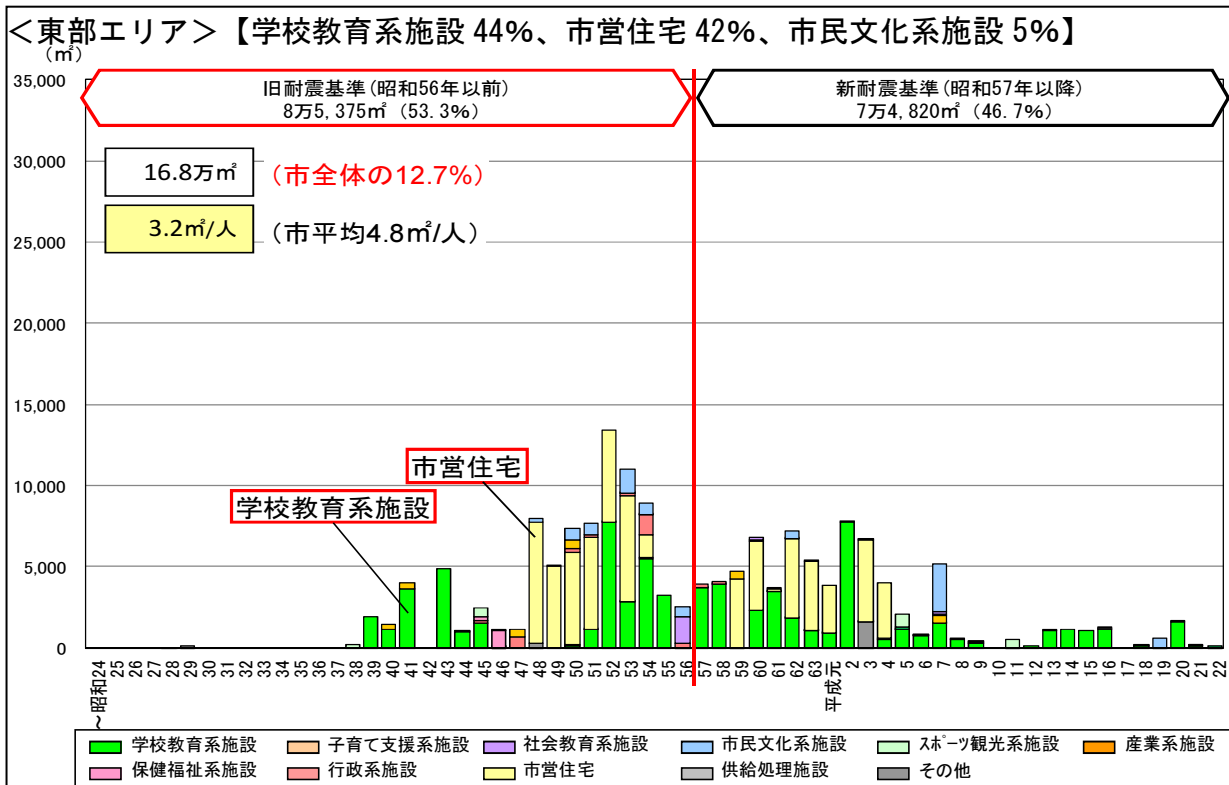
図表 配置図（東部エリア）

※配置図には主な施設を掲載しています。

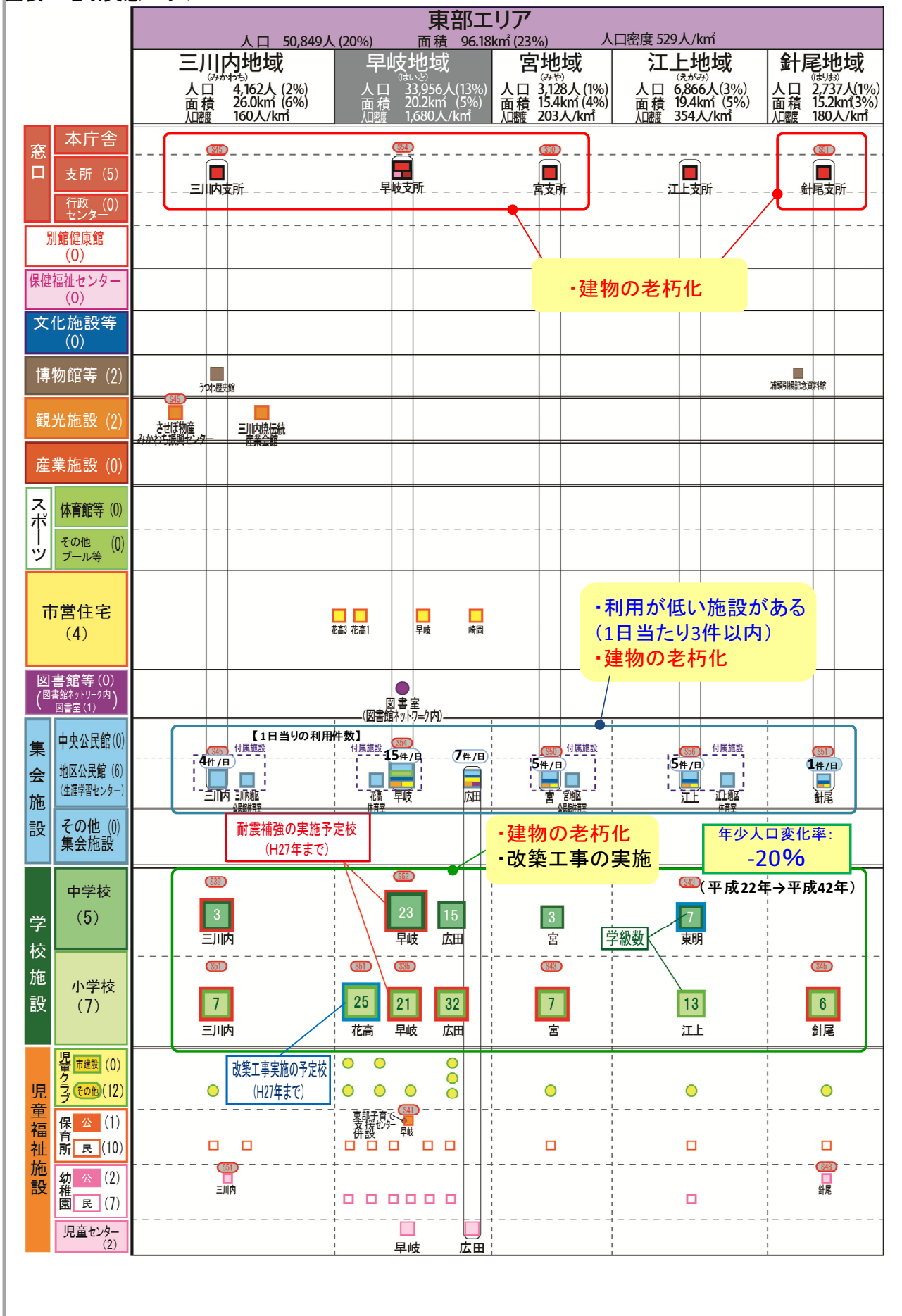
※「人の流れ」は、都市計画マスタープランの都市軸等とは異なり、一般的な人の流れを示すものです。



図表 築年別整備状況



図表 地域実態マップ



主な公共施設の状況

【公民館・生涯学習センター】

公民館・生涯学習センターは、中学校区に1施設を基本に整備しており、本エリアには、早岐地区公民館等6施設があります。このうち、広田地区公民館を除く5施設は、今後、耐震化及び建替え又は大規模改修等の老朽化対策が必要となっています。

また、利用状況をみると、市全体の平均（1日当たり6件）と比べ、比較的高くなっている施設もありますが、針尾公民館1施設は1日当たりの平均利用件数が1件と低くなっています。今後、部屋ごとの稼働状況を的確に把握し、利用ニーズが高い利用機能を把握するなど、施設ごと及びエリア全体での利用者ニーズを把握することが必要です。

【小学校・中学校】

学校施設は、小学校が7校、中学校が5校の計12校あります。このうち、平成27年度までに耐震化及び大規模改修等の老朽化対策の実施を予定する学校が9校あります。

また、10学級を下回る小規模校は、6校と約半数となっています。今後の年少人口変化をみると、約20%減少することが予測されており、さらに児童生徒数が減少することが予測されます。

【支所】

早岐支所等5施設が配置され、全て地区公民館と併設しています。

行政窓口としては、早岐支所は支所及び行政センターの中で最も利用件数が多くなっています。

今後の検討の視点

【耐震化・老朽化への対応】

本エリアでは、公民館（支所併設）及び小学校・中学校施設等、本エリア内の約53%の施設に対して、今後耐震化及び建替え又は大規模改修等の老朽化対策が必要となります。公共施設が、駅及び幹線道路周辺に集積していることから、周辺の公共施設の老朽化状況を踏まえ、同一機能との集約化や他の機能との合同化による効率化を検討するとともに、建物のライフサイクルを通じた効率化を検討する必要があります。

【市民ニーズに応じた施設配置・整備への対応】

公民館の部屋ごとの稼働状況を把握し、利用機能ごとのニーズを把握する必要があります。今後は、他の用途を含め、ニーズを的確に把握し、利用状況を向上させると共に、そのニーズに応じた施設配置・整備を検討する必要があります。

【人口構成の変化等による施設の有効活用】（地域単位の人口変化は第1章P7参照）

本エリアでは、今後人口が約6%減少すると予測され、地域ごとでは、早岐地域が約2%微増すると予測される一方、宮地域では、約36%減少するなど、地域によって大きく異なります。これらの特性を踏まえ、保有施設の効率的な施設整備や利用機能の見直しなどによる施設の有効活用を検討する必要があります。有効活用の方策としては、人口減少及び人口構成の変化により生じる可能性のある施設の余剰スペースの活用や、建替え等を行う際に、周辺の公共施設の老朽化状況を踏まえ、同一機能の集約化など、多様な方策の検討が求められます。